

平成29年度 資源化状況

区分	種 別	資源化量	構成比率	前年度対比	年間総売却代・委託費用	
対価を得て行うものの	紙類	新聞	47.82 t	1.60%	△4.53%	955,444円
		雑誌	143.43 t	4.80%	△0.27%	2,091,210円
		段ボール	88.13 t	2.95%	1.70%	1,427,706円
		紙パック	1.95 t	0.07%	11.43%	37,908円
	毛布	4.46 t	0.15%	33.93%	48,168円	
	空きびん	9.23 t	0.31%	10.01%	58,804円	
	金属類	アルミ	25.35 t	0.84%	△24.31%	3,230,602円
		スチール	58.35 t	1.95%	14.78%	1,411,605円
		鉄くず	222.63 t	7.46%		3,847,046円
		小型家電	63.95 t	2.14%	15.00%	828,740円
	ペットボトル	24.65 t	0.83%	30.22%	891,351円	
	発泡スチロール	2.39 t	0.08%	11.16%	258円	
	小 計	692.34 t	23.18%	1.50%	14,828,842円	
	逆有償	プラスチック製容器包装	50.31 t	1.69%	△6.30%	△24,494円
ガラスびん無色		38.58 t	1.29%	△5.99%	△8,539円	
ガラスびん茶色		56.74 t	1.90%	△20.86%	△48,901円	
ガラスびんその他の色		14.28 t	0.48%	△14.64%	△13,739円	
びん(ガラス)くず		160.62 t	5.38%	△13.45%	△2,488,661円	
有害物		乾電池	11.18 t	0.37%	26.47%	△833,131円
		蛍光管	3.65 t	0.12%	△13.51%	△386,102円
廃棄タイヤ		2.86 t	0.10%	56.28%	△46,440円	
特定家庭用機器		1.53 t	0.05%	10.87%	△19,278円	
焼却灰		1,152.95 t	38.62%	△3.20%	△44,217,434円	
可燃性粗大ごみ ^{※1}		461.41 t	15.45%	19.32%	△15,184,578円	
粗大混合物 ^{※2}		88.83 t	2.98%	0.93%	△4,814,846円	
不燃物残渣 ^{※3}		212.90 t	7.13%	45.94%	△11,044,080円	
紙おむつ		37.48 t	1.26%	1381.42%	△1,404,448円	
小 計	2,293.32 t	76.82%	4.28%	△80,534,671円		
合 計	2,985.66 t	100.00%	3.62%	△65,705,829円		

※1 布団、畳、衣類、木くず、廃プラスチック等

※2 家具・衣装ケース等の切断くず及びビスキー板等の分別解体が困難なもの

※3 破砕処理後のガラス、金属、プラスチック等の微細くず

○ごみの資源化率

	年間処理量	資源化量	資源化率
全 体	12,685 t	2,986 t	23.54%
燃えるごみ	11,121 t	1,472 t	13.24%
燃えないごみ・粗大ごみ等	1,424 t	* 1,437 t	* 100.91%
容器包装ごみ	140 t	77 t	55.00%

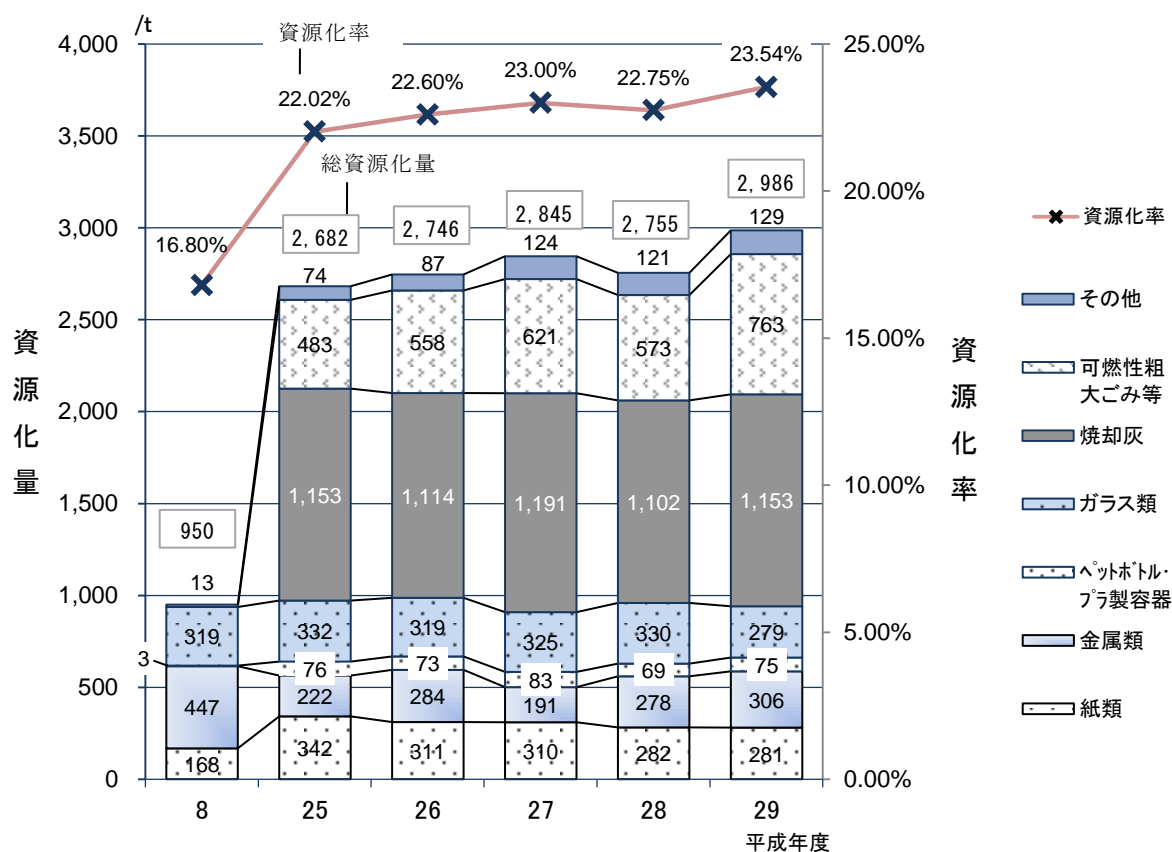
※ 燃えるごみとして収集される衣類が含まれているため、処理量を資源化量が上回っており、資源化率も100%を超える結果となっている。

○資源化率の推移

(単位：%)

年 度	8	25	26	27	28	29
組 合	16.80	22.02	22.60	23.00	22.75	23.54
県内平均	8.8	20.0	19.8	19.6	19.8	—
全国平均	5.9	15.8	15.8	15.8	15.9	—

注) 県内平均の数値は、各年度の『一般廃棄物処理事業の概況』(広島県環境県民局循環型社会課)から抜粋。全国平均の数値は、『日本の廃棄物処理 平成28年度版』(環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課)から算出



資源化量及び資源化率の推移